

福島県発明協会会長賞

監視カメラのズームエクステンダ挿抜技術(特許第 4624022 号)

【福島県発明協会】

大山 将明 三菱電機株式会社 コミュニケーション・ネットワーク製作所 品質保証部 品質保証第三課

【技術分野】

エクステンダとズームレンズとの設定を一義的に求めることができるとともに、エクステンダ挿入／脱抜時のズーム制御を連続的にして見やすいズーム制御映像を提供できる監視カメラ装置に関する技術である。

【解決手段】

エクステンダを有するズームレンズ及びこのズームレンズとエクステンダの駆動制御を行う制御部を有するカメラ監視装置において、制御部は、見かけの光学焦点位置を示す絶対焦点位置に対応するエクステンダの挿抜及びエクステンダの挿抜に応じて補間するように定めた前記ズームレンズの焦点位置を示す焦点設定テーブルを備え、ズームレンズの焦点位置への移動を示すズーム指示により得られた絶対焦点位置から、焦点設定テーブルの絶対焦点位置を選択し、この選択された絶対焦点位置に対応してエクステンダの挿抜とレンズ焦点位置への移動を制御する。

【発明の効果】

本発明によれば、制御部は、見かけの光学焦点位置を示す絶対焦点位置に対応するエクステンダの挿抜及びエクステンダの挿抜に応じて補間するように定めたズームレンズの焦点位置を示す焦点設定テーブルを備え、ズームレンズの焦点位置への移動を示すズーム指示により得られた絶対焦点位置から、焦点設定テーブルの絶対焦点位置を選択し、この選択された絶対焦点位置に対応してエクステンダの挿抜とレンズ焦点位置への移動を制御するので、エクステンダの切り替えを操作者が意識することなく、自動的に切り替えることにより効果的に切り替えることができる。

本発明品

